

政策創造学部

Faculty of Policy Studies

政策創造学部
ホームページ

政策創造学部のさらに詳しい情報、最新のトピックを知るには、「政策創造学部ホームページ」をご確認ください。学部の特徴やゼミ紹介、学生の声など、充実のコンテンツを揃えています。




「政策創造」とは?

政策創造学部
ガバナンス研究科(大学院)

政策創造学部
facebook



関西大学 入学試験情報総合サイト
Kan-Dai web 2023年4月
リニューアル

オープンキャンパスなどのイベント情報や入試に関する最新情報など、受験生を応援するコンテンツが満載! 社会で活躍する卒業生インタビュー、学生インタビューなども随時更新しています。



関大 入試 検索 /クリック!



LINE 関西大学 入試センター ×
LINE公式アカウント

Instagram 関西大学 入試センター
公式Instagram

Twitter 関西大学 入試広報
公式Twitter

YouTube 関西大学 入試センター
公式YouTube




大阪(大阪梅田)からのアクセス
阪急電鉄「大阪梅田」駅から、「北千里」行で「関大前」駅下車(この間約20分)、すぐ。または「京都河原町」行の場合「淡路」駅下車、「北千里」行に乗り換えて「関大前」駅下車。

新幹線「新大阪」駅からのアクセス
JR「新大阪」駅からOsaka Metro御堂筋線「なかもず(方面)」行で「西中島南方」駅下車、阪急電鉄に乗り換え「南方(みなみかた)」駅から「淡路」駅を経て「関大前」駅下車(この間約30分)、すぐ。

京都(京都河原町)からのアクセス
阪急電鉄「大阪梅田」行で「淡路」駅下車、「北千里」行に乗り換えて「関大前」駅下車、すぐ。

Osaka Metro利用のアクセス
大阪モノレール「大阪空港」駅からOsaka Metro堺筋線(阪急電鉄に相互乗り入れ)が阪急電鉄「淡路」駅を経て「関大前」駅に直通しています。

大阪国際(伊丹)空港からのアクセス
大阪モノレール「大阪空港」駅から「門真市(かどまし)」行で「山田」駅下車、阪急電鉄に乗り換え「関大前」駅下車(この間約30分)、すぐ。

政策学科

政治経済専修
地域経営専修

国際アジア学科

政策を創り、未来を創る

Make Policy, Build the Future

正解のない課題と向き合い、アイデアを磨き上げ、
解決に近づく提案を発信する。

政策創造学部では、国内外の社会問題を批判的に分析し、
政策を立案・実践する力を身に付けます。

学部を選んだ理由は？

さまざまな分野を
学べるから多角的な
視点が得られると
考えました。

興味があるテーマは？

海外研修プログラム
を通してSDGsや
環境問題に興味を
もちました。

将来の目標は？

商社に就職して
韓国と日本を結び
付ける役割を
果たしたいです。

学部の雰囲気は？

入学後すぐにゼミが
あるので学生や先生
との距離が近くアット
ホームな感じです。

学部の魅力は？

自分の意見を伝え、
まわりと議論する
機会が1年次から
あります。

上段左から

政策学科 1年次生

足立 萌愛美さん(京都/大谷高等学校出身)

政策学科 2年次生

キム ウォンジュンさん(韓国/Bulgok High School出身)

下段左から

国際アジア学科 2年次生

姜 侑璃さん(兵庫/神戸朝鮮高級学校出身)

国際アジア法政策学科(現 国際アジア学科) 3年次生

西山 杏実さん(大阪/府立和泉高等学校出身)

政策学科 3年次生

奥平 創志朗さん(愛媛/県立今治西高等学校出身)

政策創造学部で学べる領域

政策創造学部は、国際関係、政治、経済、経営戦略、法律、地域文化等多様な領域を横断的に学ぶことによって、現代社会の諸問題を、発見する力、解決の方法を見出す力、及びそれぞれを実行・実現する力を養います。



政策創造学部の学びの特色

01 少人数教育

1年次からの少人数ゼミ教育により、プレゼンテーションやディスカッションをする力を身に付け、3年次から「専門演習」(ゼミ)に所属し専門的に学修します。

> 詳しくはP.11、P.12へ

02 国際教育プログラム

国際化時代にふさわしい、グローバルな視野に立って活躍できる学生の教育に積極的に取り組み、さまざまな語学プログラムを開講しています。また学部独自の海外研修プログラムを実施しています。

> 詳しくはP.05、P.06へ

03 政策公務セミナー

公務員をめざす学生をサポートする政策公務セミナーを実施しています。1、2年次には少人数ゼミを開設、上位年次にはより専門的な知識を身に付けます。また、定期的な講演会、本学部の公務員試験合格者との対話会の機会なども設け、学生のキャリアデザインをサポートします。

> 詳しくはP.08へ

在学生の声

政策創造学部では多様な個性をもった学生が、将来の目標に向けてチャレンジしています。

知識のインプットとアウトプットを重ね、
伝える力を高められました。

授業を通して社会と
日常のつながりを
実感できます！

なりたい自分像が明確でなかったため、大学で勉強を進めながら将来の目標を決めようと考え、政策創造学部を選択。実践的な英語力を高められることも魅力でした。入学してみると、90分間が一瞬だと感じるような面白い授業が多く、さまざまな分野に興味が広がりました。また、1年次から発表の場があったことも良かったと感じます。最初は苦手意識もありましたが、下準備を重ねることで自信をもって発表できるように。ゼミではヨーロッパと日本の死刑制度を比較し、教科書では学ばないようなことまで調べることができました。卒業後はさらに自分を高めるよう頑張っていきたいと思います。

政策学科 4年次生
加門 愛華さん
(兵庫/県立北条高等学校出身)

学生生活の様子



▲夏に先生含めゼミメンバーみんなでBBQをしました。



▲趣味の旅行でオーストラリアゴールドコーストに行きました。



▲アパレルのアルバイトではさまざまな洋服を着れるので、ファッションの知識が増えとても楽しいです。

幅広く学びながら**関心がある分野**を見つけ、
社会の今とこれからの**論理的に考える習慣**がつかえました。

少人数制の授業や
演習を通して友人・知人が
たくさんできます！

本学科を選んだ理由は、さまざまな学問分野に触れながら自分の興味を探せること、そして海外諸国の法や政治を比較して学べることの2点です。その期待通り、社会学、経済学、経営学、法律学などを広く学びつつ、2年次からは専門性の高い科目を受講することができ、とても自由度の高い学部だと実感しました。また、本学部の試験は論述形式なので、物事を論理立てて考える習慣がつかえました。3年次からは、まちづくりや地域システムについて研究するゼミに所属。日本における難民制度や、企業の育児休業制度の事例などを学んだ上で、現時点では日本の自治体における子育て支援の取り組み事例を調べようと考えています。

国際アジア法政策学科
(現 国際アジア学科)
3年次生
渡會 脩士さん
(愛知/県立天白高等学校出身)

学生生活の様子



▲和気あいあいとみんな仲良く活動しています。



▲運動会を開催し、学年の垣根を越えて白熱しました。



▲有馬温泉に行き、癒されました。

学科紹介

学問領域の枠組みを超え、多様な視点から現代社会の諸問題に挑む

多岐にわたる分野の学びを通して、グローバル化、環境問題、日本の少子高齢化など、国内外の社会問題に対し、解決のための政策を柔軟かつ総合的に判断・提案する能力を養います。2年次に以下の2専修(政治経済専修、地域経営専修)に分属され、より専門性の高い知識を身に付けます。

政策学科

学びの
ポイント

- 1 多岐にわたる学びの領域を横断的かつ段階的に学ぶ
- 2 学ぶ意欲を高める実践的なカリキュラムとしてゼミ活動を重視
- 3 グローバル社会で生かせるコミュニケーション能力を育む
- 4 フィールドワークを通して、実社会の問題を考える

こんな人に
オススメ

- 政治経済専修** ▶ 国内外の社会問題の分析や解決に実践的に取り組みたい
公務員や議員として公共政策の作成に関わりたい
政府機関や多国籍企業、NGOなどの国際的な分野で活躍したい
- 地域経営専修** ▶ 地方公務員として郷土の発展に貢献したい
地域経済の活性化に関わりたい
経営のプロとして、幅広いフィールドで活躍したい

政治、経済、法律の観点から、激動する国際社会を読み解く

激動する国際関係、国際経済を読み解くため、政治、経済、法律の基礎を身に付け、アジアをはじめとした世界各国・地域と比較して、それぞれの特徴を学修します。今後、世界がどのような問題に直面するのか。その問題を解決するためにはどうしたら良いのか。考える力と行動力＝考動力を養います。

国際
アジア
学科

学びの
ポイント

- 1 欧米・アジアの諸言語で、世界各国・地域の社会を学ぶ
- 2 政治、経済、法律の基礎を確実に学び、実践に生かす
- 3 世界各国の社会を比較することで、現在の日本と世界を知る
- 4 アジアをはじめとした世界を、政治、経済、法律の視点から学ぶ

こんな人に
オススメ

- ▶ 現地採用を視野に入れ、世界各地で活躍したい
- ▶ グローバルな問題をさらに検討するために、海外を含めた大学院へ進学したい
- ▶ 国際機関、NGOなどで活躍したい
- ▶ 政策・企業法務に携わる実務家をめざしたい

国際教育プログラム

即戦力となる英語を身に付ける・海外で視野を広げる

競争と共存が進む国際社会において通用する外国語運用能力をもち、グローバルな視野に立って活躍できる人材育成をめざしています。



海外で学ぶ

政策創造学部 独自の海外研修プログラム



イギリス 単位認定あり

ケンブリッジ大学 ヒューズホール

- コミュニケーション能力の向上
- 政策創造学部独自のテーマ、「都市計画と再生」について英語で学修
- ホームステイを通じて、現地の生活、文化に溶け込む
- ロンドンツアー、課外活動、現地学生との交流

対象年次: 1年次以上
募集時期: 9月下旬～
期間: 約3週間
実施時期: 2月中旬～3月中旬
参加費: 約70～80万円
(為替レートにより変動)



Program Content

Week 1 Cultural Studies field work : Britain today, Field trip to the Cotswolds

Week 2 Greater Cambridge Partnership visit: getting to know the city and how we plan for the future, studying competing needs

Week 3 Acting and presentation skills workshop

Evening Activity Games Evening, Evening discussion, Barbecue followed by International Student night



タイ 単位認定あり

ブーラパー大学 インターナショナルカレッジ

- 高度な外国語運用能力を有する2年次生以上を対象
- タイの環境経済や物流管理など、5つのテーマについて英語で学修
- 現地の学生と英語で交流

対象年次: 2年次以上
募集時期: 4月中旬～
期間: 約1週間
実施時期: 8月下旬～9月上旬
参加費: 約20～30万円
(為替レート等により変動)



1週間の流れ	Day1	Day2	Day3	Day4	Day5	Day6
	● Visit Grand Palace ● Welcome dinner	● Lecture Class ● University explorer	● Lecture Class	● Site Visit Pluang Thong, Bangsaen Beach	● Certification Ceremony ● Visit Pattaya	● Group Presentation ● Site Visit

※国際情勢を勘案し、プログラムを変更することがあります。



学部で学ぶ

「即戦力となる英語」を修得する 対象年次: 1年次以上

特徴 /

- ✓ **政治・経済について英語で学修**
政治、経済に関するテーマについて、英文雑誌や英字新聞を読み、CNNやBBCなどのニュースを聴き、その内容を理解して簡単なレポートにまとめる、というレベルまで到達することをめざします。
- ✓ **6段階のレベル別クラス編成**
- ✓ **日本人講師と外国人講師が交互に担当**

日本人講師による授業

- 通訳者のテクニックを使ったリスニングトレーニング
- 必要な情報を迅速、的確にキャッチするリーディングトレーニング
- さまざまなアクティビティの中での語彙の増強

外国人講師による授業

- コミュニケーション、ディスカッション、プレゼンテーション、ディベートなど、アウトプット中心の授業



外国語科目

ドイツ語、フランス語、ロシア語、スペイン語、中国語、朝鮮語 ※P.11を参照

国際的な場面に応じた英語をマスターする 対象年次: 3年次以上

ビジネスコース

ビジネスに必要な英語力を身に付けます。

海外進学コース

大学院での学修、研究に必要なとされる英語力を身に付けます。

国際コーディネーターコース

通訳技術を修得することにより英語力を全体的に伸ばすことをめざします。

諸外国の政策課題を現地の言語で学ぶ **グローバル・スタディーズ・セミナー**

政策研究に関係する世界各国の政治、経済、法律を現地の言語で学修します。学修を通して諸外国の政策を理解するとともに外国語運用能力の向上をめざします。

テーマ例 ● 英語で学ぶ国際関係論 ● 中国語で学ぶ法と社会 ● ドイツ語で学ぶヨーロッパ
● フランス語で学ぶ政治文化 ● 韓国語で学ぶ文化と社会

英語圏に留まらない幅広い異文化の理解とともに、学問・知識の修得を目的とした語学プログラムを開講しています。

プログラム参加学生の成長レビュー



政策学科 1年次生
大野 美咲さん
(兵庫/県立姫路西高等学校出身)

Q1 プロフェッショナル英語を受講した感想は?

A クラスメイトと英語で意見交換したり、英語でスピーチする機会が多く、スピーキング力が向上しました。うまく話せなくて失敗したらどうしようと不安になることなく、積極的に挑戦しやすい環境がよかったです。

Q2 海外研修プログラムに参加したきっかけは?

A 留学には興味があったものの、経済的な負担や英語の実力不足からあきらめていました。しかし、入学時のオリエンテーションで海外研修プログラムに参加した先輩から話をうかがい、オンライン留学なら私も参加できるかも、やってみようと思いました。

※2022年度はオンラインにて実施

Q3 海外研修プログラムに参加して成長できたことは?

A 授業で「アフリカの乳児死亡率」について調べ、発表しました。チェンマイ大学の先生から、日本の育児環境に関する質問を受けたのですが、自分の知識や理解不足からうまく説明できず、自分の国について知ることの大切さを実感しました。

Save African Baby

Misaki Ohno

What is the present condition of Africa?

Region	2008	2019
Sub-Saharan Africa	95	74
Eastern and Southern Africa	82	54
North Africa	10	10
Algeria	10	10
Morocco	10	10
Tunisia	10	10
World Average	10	10

What is the solution?

- Vaccine
- clean water
- Nutritional food

Q4 海外研修プログラムで学んだことを今後どう活かしていきたい?

A 参加後の授業で、クラスメイトから「英語が上手くなったね!」と言われました。今後は日本国内で外国人と関わる機会が増えると思うので、積極的にコミュニケーションを取りたいです。また、いずれは実際に海外に行こうと思います。

学部イベント

新入生合宿 友人をつくり、大学生活を充実させる

新入生指導行事の一環として、毎年4月中旬から下旬にかけて、合宿を行っています。上級生が中心となって企画運営し、例年多くの新入生が参加する学部行事です。



※2022年度は対面にて新入生歓迎プログラムを開催
※プログラムの内容は変更することがあります。

アカデミックフェア [研究成果発表会] グループで研究を重ね、政策提言を行う

学生が主体となって日頃の研究成果を発表するイベントです。自らの研究テーマを多様な視点で考える、よい機会となっています。

【2022年度 優秀作品の一例】

発表
タイトル

日本における安楽死

～現状と問題点～

安楽死とは、現代医学の見地から判断して、回復の見込みがなく、かつ、死を間近にした者の苦痛を除去・緩和するために生命の短縮を伴う措置をとることを指します。現在の日本では安楽死の是非を考える際に、刑法199条(殺人罪)や刑法202条(自殺関与・同意殺人罪)が成立するかどうか問題となります。私たちは日本における安楽死をめぐる事件と判例を取り上げながら、安楽死を認めるべきか、認めるとするならばどのような要件が満たされるべきかを考察しました。その結論として、安楽死を合法化した場合、医療・介護の努力放棄や命の選別、自殺手段へと変質するおそれがあり、安楽死は容易に合法化するべきではないと提言しました。



発表
タイトル

難民支援の現状・課題

— 国際比較から難民受け入れを考える —

日本は難民条約に加盟しているため、難民を支援する責務があります。しかし日本の難民受け入れの現状を調べると、2021年は難民申請件数に対する認定率が0.7%でした。私たちは、難民受け入れを推進するためにはどのような行動、対応策が必要なのかを探りました。日本の難民認定基準の厳しさ、出稼ぎ目的の偽装難民の急増などの背景、受け入れ先進国であるドイツの事例などを取り上げた上で、私たちのグループは、政府だけでなく、一人ひとりの意識のもち方も重要であると提言。難民政策の効果は、個人・各地域の受容性の高さによって大きく変化します。一人ひとりができることも十分にあり、小さなことから意識を変える必要性を訴えました。

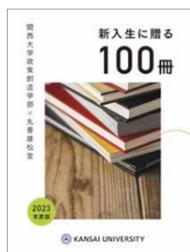


ビブリオ・コンテスト [書評コンテスト]

本企画は、学部教員がさまざまな分野から選出した100冊の推薦図書から、学部生が自由に一冊を選択し、感想文を作成するものです。表彰式では優秀賞の学生を対象に表彰状と副賞が授与されます。

「新入生に贈る100冊」のリストは

政策創造学部 100冊 で検索!



表彰式の様子

学部教員が薦める、未来を創造するための100冊

政策公務セミナー

公務員をめざす学生をサポート



「政策公務コース」の設置

「政策公務セミナー」の一環として、導入ゼミⅡ(1年次以上)、専門導入ゼミⅠ,Ⅱ(2年次以上)内に「政策公務コース」を設けています。政治学、経済学、法律学などの初級～上級レベルの知識を身に付けることができるよう、専門の教員が少人数で指導を行います。

■ 政策公務研究 I, II, III

〈政策公務研究で学ぶこと〉

将来、政策公務職(国家公務員、地方公務員など)に携わることを目標にしている学生向けの特設講義です。

政治学 政治学、行政学に関わる理論について考察する

経済学 ミクロ・マクロ経済学を理解し、試験対策を自ら進める基礎学力を身に付ける

法律学 公務員試験、資格試験における民法の重要論点を理解する

公務員就職状況

国の機関に勤め、国政に携わる国家公務員、地方公共団体に勤め、主に地域に密着した仕事をする地方公務員。これらの職に携わるためには公務員試験に合格することが必要です。本学部は、政策公務セミナーなどの取り組みもあり、一定の成果をあげています。

国家公務員

▶ 国家公務員一般職 ▶ 国税専門官

地方公務員

▶ 愛媛県職員 ▶ 大阪府職員 ▶ 京都府職員 ▶ 奈良県職員
▶ 兵庫県職員 ▶ 和歌山県職員 ▶ 大阪市職員 ▶ 京都市職員
▶ 吹田市職員 ▶ 大阪府教員 ▶ 大阪府警察官

※2023年3月卒業生実績

公務員採用試験 合格者の声



政策学科 4年次生
原 梨湖さん
(兵庫/県立小野高等学校出身)

近畿地方整備局に内定。政策創造学部で受けた数々の授業が試験対策の土台となりました。

地方創生に関わりたいという思いから、当初は地方公務員を志望していましたが、3年次から公務員試験対策を始めたのですが、政策創造学部で1年次から学んできた法律や経済の知識が土台となり、抵抗なく勉強を進められたと思います。常に計画を立てて効率的に頑張ったことで、兵庫県庁と国土交通省から合格をいただき、最終的に国土交通省の近畿地方整備局を選択。法律という観点で災害を未然に防ぎ、人々の暮らしを守るという使命感をもって働きたいと思います。

2022年度講座開講実績

第1回 政策公務セミナーの紹介と公務員試験の仕組みについて 対面開催

学内の「キャリアセンター」の職員が、公務員と民間企業の違いや公務員試験の仕組みについて解説しました。

第2回 大阪府・大阪市職員による講演会 対面開催

大阪府・大阪市の組織や業務内容をはじめ、取り組みや戦略について講演いただきました。

第3回 大阪地方裁判所職員による業務セミナー 対面開催

裁判所の組織や業種、業務内容を職員の体験談を交えながら講演いただきました。

第4回 本学部卒業生による講演会 Zoomオンライン開催

公務員として従事されている本学部の卒業生から、現在携わっている仕事内容や職場の雰囲気や魅力をお話いただきました。

第5回 公務員試験合格者との対話会 対面開催

本学部4年次生の公務員試験合格者より、公務員を志望した理由から、試験勉強の進め方やスケジュールの立て方など、具体的な経験談を交えながら、お話いただきました。

研究テーマ紹介

研究テーマ

オランダ・フードバレーの検証と日本の産業クラスター政策の比較考察

Q 国際関係論のゼミを選んだ理由は?

上村さん 海外旅行が好きで、国際関係の問題を身近に感じていました。また、学部で受講した安全保障や外交に関する授業に興味をもったことも理由の一つです。

柄谷教授 上村さん達の学年は、20人弱のゼミ生が活動していますね。

上村さん ゼミ仲間から自分が思いもよらないアイデアをもらったり、今まで考えたこともないような問題を知ることができたりと、良い影響を受けています。

柄谷教授 このゼミでは、まずゼミ生全員で専門書を1冊精読して、レジュメにまとめて発表してもらっていますが、いかがでしたか。

上村さん 単に文献を読むだけで終わらず、内容を理解して、自分の言葉で伝えることが大切だと実感しました。

国際アジア法政策学科
(現 国際アジア学科)
4年次生
上村 瑛誉さん
(兵庫/県立加古川北高等学校)

柄谷教授 最初は難しいと感じることもあると思います。でも卒業論文の作成に必要な、論理的に考える力、相手に分かりやすく伝える力を高めてほしいですね。また、他大学との合同ゼミも経験しましたね。

上村さん 4人で1つのチームを作り、私たちは「技能実習制度をめぐる問題と解決策」を提言しました。グループで議論する中で、意見が分かれることを何度も経験しました。



先生からいただいた言葉の数々が考え方に大きく影響しています

柄谷教授 外国人の受け入れを推進した方がいいと考える人と、国内の雇用を優先しつつ省人化を進めるべきという人がいましたね。どちらが正しいのかを短絡的に考えず、しっかり議論を尽くすことが大切です。

上村さん この時から、私たち自身が自主性をもってゼミを運営するようになりました。

柄谷教授 ゼミ生同士が新しい視点を与え合い、自分の考えを客観的にとらえるきっかけをつかむ。これは大学時代に得られる重要な経験ですね。

上村さん コロナ禍でオンラインツールを活用する時期もありましたが、3年次の秋学期からはみんなで集まってゼミ活動を行うことができました。

Q 卒業論文の作成にける意気込みは?

柄谷教授 上村さんは、英語の文献も参照しながら卒業論文の作成に力を注いでいますね。

上村さん オランダにある産官学連携の農産業クラスター・フードバレーを研究対象に選びました。フードバレーが成立した経緯、参加企業を集める制度、そして現在抱えている課題とその要因について、論文にまとめているところです。

柄谷教授 もともと地域振興にも興味をもっていましたね。

上村さん はい。現在は日本国内の多くの場所で産業クラスター政策が進められていますが、国際的な観点からも検討したいと考えたので、世界的に注目を集めているオランダの事例を取り上げました。

柄谷教授 実際に調べてみて分かったことは何でしたか?

上村さん 自治体、企業、大学という、立場や目的が異なる組織が連携する際に、日本では「フードバレー」の表面的な仕組みを再現しようとしているケースがあると感じます。この現状をより良い形にしていくにはどうすればいいか、提言にまとめることが難しいですね。

柄谷教授 上村さんは資料を探して理解する力をもっています。さらに期待したいのは、何を明らかにするか、そのために集めた情報をどのように分析するかという部分ですね。骨太な研究につなげてほしいと思っています。

ゼミ仲間との議論を通して自らの考えを客観視することが大切

上村さん 期待に応えられるように精進します(笑)。先生からは、自分が今まで疑ったことのない「常識」を揺るがす言葉をいくつかいただきました。例えば、「日本(日本人)とは何か」という言葉がとても印象に残っています。当たり前のように使っていた言葉ですが、国や人を区別することの難しさを理解できたことで、今の私自身のコミュニケーションや考え方に大きく影響しています。



国際アジア学科
柄谷 利恵子 教授

柄谷教授 ゼミでの経験が視点を広げるきっかけになることはうれしいです。卒業前に、交換留学生としてオーストラリア国立大学に行きますよね。

上村さん 関西大学で学んだことに、留学先で学ぶことをプラスして、知識や考え方をよりスケールアップしたいと思います。また、今後世界を引っ張っていく世界中の同年代の人たちと交流することを、とても楽しみにしています。

柄谷教授 ゼミ生には卒業する際に、「悲しいこと、困ったことがあれば連絡してね」と伝えるようにしています。便りがないのは良い便り、ということわざがあるように、在学中に得た経験と力を社会で思い切り発揮してくれれば、教員としては一番うれしいです。今後も期待しています。

教員紹介

社会科学の諸分野を網羅する教員陣があなたとともに学び、新たな政策立案に挑みます。

政策学科

石田 成則 教授
・社会保障
・福祉政策
・企業福祉

岡本 哲和 教授
・高度産業社会における公共政策の研究

奥 和義 教授
・国際経済論
・日本経済論

小西 秀樹 教授
・現代日本政治論
・政治社会学

後藤 元伸 教授
・民法
・法人・団体法
・独仏ヨーロッパ法

白石 真澄 教授
・バリアフリー
・まちづくり論

徳丸 宜穂 教授
・技術経済論
・比較政治経済学
・北欧社会経済研究

内藤 友紀 教授
・マクロ経済政策
・金融史

宮下 真一 教授
・消費財産業のサプライチェーン研究

吉川 大介 教授
・ファイナンス

梶原 晶 准教授
・政治過程論
・行政学

三枝 憲太郎 准教授
・イギリス地域社会論

西山 真司 准教授
・政治学
・政治理論

初見 健太郎 准教授
・ミクロ経済学
・公共経済学
・文化経済学

国際アジア学科

浅野 宜之 教授
・比較憲法
・南アジア法

五十嵐 元道 教授
・国際関係論
・安全保障

柄谷 利恵子 教授
・国際関係論
・国際政治学

河崎 信樹 教授
・国際経済政策
・アメリカ経済史

権 南希 教授
・国際法

西澤 希久男 教授
・タイ法(民法、高齢者法、障害者法)
・比較法

安武 真隆 教授
・ヨーロッパにおける政治と思想

山中 友理 教授
・刑法
・刑事政策

杉浦 勉 准教授
・財政学
・英国財政論

森田 崇雄 准教授
・行政法
・環境法

【2023年度 客員教授】

青山 浩 株式会社キャピタルギャラリー 代表取締役
株式会社小肥羊 取締役

小野 勝 元株式会社ジュピロ 代表取締役社長
元ヤマハ発動機株式会社 上席執行役員

清水 展 社会学博士(東京大学)
元関西大学政策創造学部特別任用教授
京大名誉教授

カリキュラム

主体的に取り組む意欲や向上心を育む

政策創造学部
で学ぶ
4年間
(一例)

1・2年次 少人数教育で大学での学びに必要な基礎的能力・基盤的な知識を身に付ける

1年次から少人数で行う「導入ゼミ」を開講。研究を行えるレベルまで「読む・書く・話す」力を高めます。また、1年次から受講可能な「プロフェッショナル英語」や「海外研修プログラム」により、国際化時代に欠かせない外国語運用能力を高めることができます。

3・4年次 培った知識や能力を基に、より専門的な研究や卒業論文の執筆を進める

興味や関心から、心に応じて、多分野にわたる展開科目を受講するとともに、3年2年間はゼミに所属して研究活動に取り組みます。フィールド政策提言などの実践を通して、学問と社会のつながりを感じながら研究を深めることができます。

PICK UP 科目紹介

01 福祉政策論

生活を支える福祉政策の現状と将来像について学ぶ

福祉政策の中で大きな役割を果たしている年金や医療保険などの社会保障制度や民間保険のあり方について解説してゆきます。長期の不況や高齢社会、また限られた財源のなかで雇用や老後の不安は増しており、福祉は大きな転換点に立っています。生活保障をめぐる話題やトピックスを取り上げながら、現状の制度を理解したうえで将来の展望について考察します。



02 外交政策

外交を知ると国際社会の仕組みが分かる

外交とは、国が平和的な手段で外国と交渉することを指し、戦争のような暴力を避けるために人類が紡いできた叡智です。この授業では、外交の理論・歴史・実践を探索し、それを通じて国際社会の構造と力学を理解することをめざします。授業の後半では、現代の 이슈、たとえば、テロや感染症、国連の役割などについて深掘りし、今起きている世界の変化を理論的に分析します。



03 グローバル・スタディーズ・セミナー

グローバル化が進む世界の現状を外国語で学ぶ

グローバル・スタディーズ・セミナーは、外国の政治・経済や国際問題に関する少人数の授業です。英語、中国語、韓国語などで書かれた本や雑誌記事を輪読したうえで、討論や政策の提案を行います。



入学	1年次		2年次		3年次		4年次				
	共通教養科目・外国語科目										
入学	学科分属	導入ゼミ	専修分属 (政策学科)	専門導入ゼミ	専門演習		卒業論文研究				
		導入科目 (2学科共通)		基幹科目(2学科共通)							
展開科目(学科・専修別に科目を選択)											
データ分析科目	データ分析										
導入科目	導入ゼミI(社会科学入門) 政策学の基礎 政治学入門I 法学入門I 経済学入門 経営学入門	導入ゼミII 国際アジア研究の基礎 国際関係入門 政治学入門II 法学入門II(各テーマ) ミクロ経済学の基礎 マクロ経済学の基礎		専門導入ゼミI 公共政策論 政治過程論 行政学 自治体経営論 国法学I	民法学I 刑事法学I 社会人類学 経済政策論 金融政策 地域経済論	企業と組織I 社会保障論	専門導入ゼミII 専門導入ゼミIII(各テーマ) 国際法 政治学 現代日本政治論 安全保障論	国法学II 財政学 国際経済論 国際経済政策 ロジスティクス論 社会政策論 リスクマネジメント論	専門演習I(通年)	専門演習II(通年)	卒業論文研究
専門教育科目	政策学科	政治経済専修	地域経営専修	多文化共生論 開発法学 国際社会と経済 日本経済論 政策規範論 政策過程論		民法学II 公共選択論 福祉政策論 特殊講義(各テーマ) 在外社会科学研究(各テーマ)	環境政策 国際公共政策 ヨーロッパ統合論 国際協力論 国際社会論 外交政策	政治学史と政策 ゲーム理論 比較政治学 政治参加論 法の歴史と思想 国際金融論	国際環境法 国法学III 計量分析 民法学III	刑事法学II 社会と政策I(各テーマ) 社会と政策II(各テーマ) プロジェクト型演習I プロジェクト型演習II	
				国際社会と経済 アジア経済論 日本経済論 民法学II 公共選択論 福祉政策論		地域社会論 会計学 企業と組織II 特殊講義(各テーマ) 在外社会科学研究(各テーマ)	開発経済学 交通論 政治社会学 政治参加論 ゲーム理論 計量分析	金融工学 コーポレートファイナンス 損害保険論 財務戦略論 環境政策	組織と法 都市計画 地域産業戦略論 まちづくり論 自治体政策論	地域システム論 社会と政策I(各テーマ) 社会と政策II(各テーマ) プロジェクト型演習I プロジェクト型演習II	
				多文化共生論 開発法学 民法学II コモン・ロー地域と法 アジアの法と社会I(各テーマ) アジアの法と社会II(各テーマ) 国際社会と経済		アジア経済論 地域社会論 特殊講義(各テーマ) 在外社会科学研究(各テーマ)	国際公共政策 ヨーロッパ統合論 国際協力論 国際社会論 外交政策 政治学史と政策 比較法制史	開発経済学 環境法政策 国際金融論 国際環境法 比較政治学 国法学III	民法学III 刑事法学II 法人・団体法論 ドイツの法と社会(各テーマ) フランスの法と社会(各テーマ) アジアの法と社会(各テーマ) アジアの法と社会IV(各テーマ)	アジアの法と社会V(各テーマ) アジアの法と社会VI(各テーマ) 各国の政治・経済(各テーマ) グローバル・スタディーズ・セミナー(各テーマ) プロジェクト型演習I プロジェクト型演習II	
				国際社会と経済							
外国語科目	Aパターン(英語のみ16単位)、Bパターン(英語8単位およびそのほかの外国語8単位)、Cパターン(ドイツ語またはフランス語または中国語12単位および英語4単位)のいずれかの履修パターンにより選択										

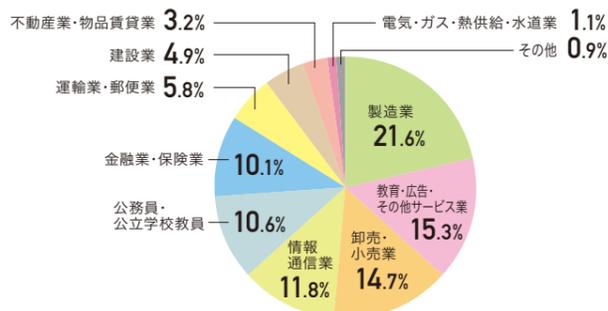
※カリキュラムは変更になる場合があります。

卒業・大学院進学

就職実績

政策創造学部の卒業生が活躍する分野は多岐にわたっています。

就職率 **98.6%**



就職先の一例 (2023年3月卒業生実績)

製造業	IHI、伊藤園、イトーキ、エレコム、オカムラ、沖電気工業、川崎重工業、京セラ、神戸製鋼所、サッポロビール、シャープ、ジョンソン・エンド・ジョンソン、SUBARU、住友重機械工業、積水化学工業、象印マホービン、大建工業、TDK、ディスコ、デンソーテン、凸版印刷、トヨタ自動車、日本電気 (NEC)、日本発条、日立製作所、日立造船、富士フィルムビジネスイノベーション、堀場製作所、三ツ星ベルト、ミネベアミツミ、村田製作所、山崎製パン、レゾナック
教育・広告・その他サービス業	エン・ジャパン、オリエンタルランド、JTB、ディップ、船井総合研究所
卸売・小売業	イオンリテール、因幡電機産業、岩谷産業、加藤産業、JFE商事、ニトリ、阪和興業、ファーストリテイリンググループ、富士フィルムビジネスイノベーションジャパン、フルサトグループ、リコージャパン
情報通信業	SCSK Minoriソリューションズ、NTTデータSMS、NTTドコモ、大塚商会、オービック、京セラコミュニケーションシステム、コナミグループ、さくらインターネット、システムリサーチ、TBSスパークル、東京海上日動システムズ、日本ビジネスデータプロセッシングセンター、日立ソリューションズ・クリエイト、富士ソフト、富士通エフサス、ベネフィット・ワン、楽天グループ
公務員・公立学校教員	国家公務員一般職、国税専門官、愛媛県職員、大阪府職員、京都府職員、奈良県職員、兵庫県職員、和歌山県職員、大阪市職員、京都市職員、吹田市職員、大阪府教員、大阪府警察官
金融業・保険業	関西みらい銀行、紀陽銀行、京都銀行、近畿労働金庫
運輸業・郵便業	ANA関西空港、上組、商船三井、西濃運輸、西日本旅客鉄道 (JR西日本)、日鉄物流、日本郵便、三菱倉庫
建設業	旭化成ホームズ、一条工務店、奥村組、きんでん、五洋建設
不動産業・物品賃貸業	積水ハウス不動産関西、三井不動産リアルティ
電気・ガス・熱供給・水道業	JERA、四国電力
その他	全国健康保険協会、日本年金機構

※原則として業種別、50音順で記載しています。

大学院 [ガバナンス研究科]

ガバナンス研究科とは？

公的な問題の発見・解決に向けて、
政策を立案・実行できる
「高度公共人材」を養成

問題を発見してその解決策としての政策をデザインし、実現する能力をもつ「高度公共人材」を養成。地域環境とアジア社会経済の発展、地域活性化政策などの問題を取り上げ、学際的かつ多面的に学修し、より実践的な政策課題に取り組みます。

▶「早期卒業制度」

政策創造学部では、大学院ガバナンス研究科への進学を強く希望する学生のために、卒業に必要な単位を優秀な成績で修得したと認めた学生に対し、3年の修学期間をもって卒業を認め、学士の学位を授与する早期卒業制度を設けています。

▶大学院授業科目の履修制度

大学院への強い進学意欲をもつ学業成績優秀な学部4年次生 (原則) に対して、より高度な勉学の機会を与え、大学院進学後の研究活動により多くの時間を充てることを目的とした制度です。

卒業生メッセージ

公務員や民間企業など幅広い業界で活躍し、
挑戦を続ける卒業生からのメッセージをご紹介します。

2015年3月卒業

ヤフー株式会社 勤務



メディアによる地域活性化を
ゼミ活動で実践し、
現在につながる軸ができました。

下前田 輝さん

飲食予約サービスのコンサルティングを
担当しています。

ゼミ活動では東日本大震災の被災地の取材や情報発信を行ったほか、コミュニティFMラジオ局と連携して地域の商店街の情報発信も経験。ゼミのリーダーを任せさせていただいたことが、大きな成長と自信を得ることにつながりました。メディアをめぐる活動でやりがいや楽しさを実感したことが、「メディアを通じて社会に貢献する」という現在の仕事の軸になりました。今後もコンサルティングという仕事を通して成長を目指します。

2022年3月卒業

国税庁 大阪国税局 勤務



国税専門官として働くことを
めざすきっかけは在学中の
政策公務セミナーでした。

五味 雄大さん

税金のプロフェッショナルとして、
法人への税務調査を行っています。

税務署の職員として法人への税務調査を行っています。私は在学中、政策創造学部が開催する政策公務セミナーに参加して、実際に公務員として働いている先輩方の話をうかがうことができました。現場の生の声を聞くことで自分の将来を考えるようになり、国税専門官をめざすモチベーションをもらいました。今はまだ発展途上ですが、税金のプロフェッショナルとして、国税庁の理念である「適正かつ公平な賦課及び徴収の実現」に貢献していきます。

2020年3月卒業

株式会社フジテレビジョン 勤務



社会について幅広く学び、
実情を知るために行動した経験が
高く評価されました。

徳田 聡一郎さん

2020年4月からアナウンサーとして
勤務しています。

将来テレビ局で報道の仕事をしたと思い、社会に関する知識を幅広く学べる本学部に進学しました。在学中は、授業で日本の第一次産業が後継者不足などの危機に瀕しているを知って、各地の酪農家の方々に直接話をうかがいました。この経験で得た考え方や姿勢は、就職活動でも高く評価していただけました。今後はアナウンサーとして各地を飛び回り、人知れず努力を続けている方々の姿を伝えたいと思います。

2021年3月卒業

奈良県庁 勤務



地域が抱える課題への
関心を深め、将来を見据えて
学ぶことができました。

西本 咲貴さん

総合職 (行政) として、県民の方が
暮らしやすいまちづくりに取り組みます。

大学で何を学ぶか絞りきれなかったため、選択肢の幅が広い本学部に入学。学びを進めるなかで、少子高齢化、まちづくり、地域産業戦略といった地域の課題に関心が高まり、地方公務員をめざす意志がさらに強まりました。また政策公務セミナーにおいて、公務員試験合格者のお話を聞いたことが大きな励みに。多くの経験談やアドバイスをいただいたことで、モチベーションを高めることができました。

学部長メッセージ

関西大学 政策創造学部をめぐすみなさんへ



政策創造学部長 岡本 哲和 教授

社会問題の発見とその解決に向けて

— 複雑で変化の激しい世界に対応できる人材の育成 —

「政策」とは、多くの人に関わる社会的な問題の解決策です。政策創造学部は、問題を自ら発見することができ、その問題の解決策を創り出し、さらにその解決策を実行できるような人材を育成する学部です。新型コロナウイルス感染症の問題が示しているように、たいていの社会的な問題は複雑であり、その解決は「やっかい」です。たとえば、感染防止をどうするかは、経済活動の維持の問題と切り離しては考えられません。さらに、この2つはしばしば相対立します。政策創造学部では、社会の複雑な問題を解決することに関係す

るさまざまな学問分野、たとえば政治や経済、経営や法律などを学びます。加えて、1年次からはじまる少人数ゼミや、国際教育プログラム、公務員をめざす学生にも役立つ政策公務セミナーなど、特色ある取り組みも積極的に行っています。

問題の解決策としての「政策」を創り出す能力や経験は、みなさんが将来どのような分野に進んでも必ず役に立つものです。政策創造学部はバラエティに富んだ授業や演習、優れたスタッフ、そして良好な学習環境を用意して、みなさんをお待ちしています。